

パラレルキャリア実践例

長谷川勇紀さん 本業=研修コンサルティング会社勤務/パラレルキャリア=NPOメンバー  
はパラレルキャリアをしている時間帯



▼パラレルキャリア 経営学者のピーター・ドラッカーが著書「明日を支配するもの」などで提唱した考え。寿命が伸びた現代では1つの組織に所属して同じ仕事をずっと続けるのではなく、社会活動などにも労力や時間を割くことにより「新しい世界」が手に入れられるとドラッカーは説明している。



教育ボランティアも手

「顧客の事をとことん考える。だから営業職は楽しい」。1月下旬の土曜日、東京都内のJR線の高架下にある会議室。長谷川勇紀さん(27)は熱を込めて大学生に語りかけた。この日は仕事の内幕を教える「オトナカフェ」を開催した。キャリア教育を支援する特定非営利活動法人(NPO法人)カタリバのメンバーとしての活動だ。

# 別の自分は社会活動家

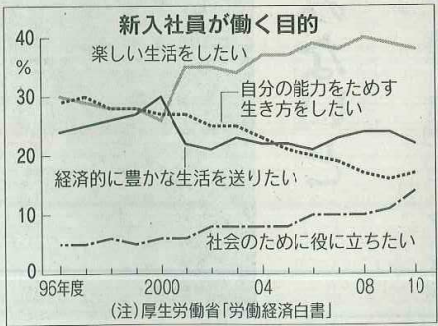
## 「パラレルキャリア」若者に広がる

「顧客の事をとことん考える。だから営業職は楽しい」。1月下旬の土曜日、東京都内のJR線の高架下にある会議室。長谷川勇紀さん(27)は熱を込めて大学生に語りかけた。この日は仕事の内幕を教える「オトナカフェ」を開催した。キャリア教育を支援する特定非営利活動法人(NPO法人)カタリバのメンバーとしての活動だ。

学生はキャリア支援活動をしている長谷川勇紀さん(東京都杉並区)

平日はオフィスで精力的に働き、スーツを脱ぎ、社会活動家やスポーツ選手に……。終業後や休日本来の仕事とは別の活動「パラレルキャリア」に打ち込む若手のビジネスパーソンが最近目立つ。仕事以外のやりがいを持ってだけでなく、得られる人脈やスキル、経験などは本業にも役立つこともあるという。パラレルキャリアは欧米では転職のための手段になることが多いが、日本では若者が働く意義を見つめ直すきっかけにもなっているようだ。

9時ごろまで働く。研修教育をすることで「人材が集中する時期は終電で帰宅したり、休日出勤をこなしたりもする。仕事と両立させているNPO活動で最大の収穫は人脈だ。例えば、化学メーカーの工場研修の内容をどうするか悩んでいるなどでの支援活動をまとめたニュースレターが工場の実情を詳細に教えてくれ、提案内容が浮かんだという。会社や出身校のつながりと別に、幅広い分野の仲間を持っているおかげで長谷川さんは話。NPOで学生にキャリア



働く意義再考の契機

転職が活発な欧米では一つの企業への平均勤続年数が日本より短く、現在の会社にとどまらず、人生設計を考える人が多くなっている。パラレルキャリアなどを通じて別業種の情報や人脈を築いた入り口が、キャリアアップにつながる転職への足がかりになっている」と労働政策研究・研修機構の小野晶子さんは指摘する。日本では「競争激化な効」と分析している。

# 人脈やスキル 本業にも一役

しかしNPO活動で「議論や調整など理系に足りない」とされる能力が高まった。プラント建設時に使える費用や資材などの情報をまとめ、作業現場に最適な工程を伝えられるようになった。「NPO活動でお金はもらえないが、スキルと経験という特別報酬を得ている」(五味さん)。

「和のパラレルキャリア」を持つ。勤務先のIT企業が自由な社風だったことで、かえって「型を重んじる日本文化の大切さに気づいた」。そこで20年以上の経験を生かし、4年前から週末に自宅で茶道教室を開くようになった。人に教えることで「もてなしの心」が深まった清水謙さん(32)は平日、ITコンサルタントとして働く。週3日は終業後に筋力トレーニング

「和のパラレルキャリア」を持つ。勤務先のIT企業が自由な社風だったことで、かえって「型を重んじる日本文化の大切さに気づいた」。そこで20年以上の経験を生かし、4年前から週末に自宅で茶道教室を開くようになった。人に教えることで「もてなしの心」が深まった清水謙さん(32)は平日、ITコンサルタントとして働く。週3日は終業後に筋力トレーニング

「和のパラレルキャリア」を持つ。勤務先のIT企業が自由な社風だったことで、かえって「型を重んじる日本文化の大切さに気づいた」。そこで20年以上の経験を生かし、4年前から週末に自宅で茶道教室を開くようになった。人に教えることで「もてなしの心」が深まった清水謙さん(32)は平日、ITコンサルタントとして働く。週3日は終業後に筋力トレーニング